

知事コメント

令和3年9月26日(日)

県民、事業者の皆様、感染対策の徹底誠にありがとうございます。県内の感染状況は、皆様の取組みにより、9月末には緊急事態宣言の段階を脱する水準まで改善する見込みとなっております。

県は先般「緊急事態宣言解除及び経済活動再開に向けた見通し」を示し一層の感染対策をお願いしたところですが、この直近3週間において県が想定したよりも速いスピードで減少しており、当初の計画より早くこの水準まで至ることが出来ましたことに深く感謝申し上げます。

県は、これらの状況を踏まえて、今後の感染防止のための措置の実施についてご意見を伺うため、昨日、感染症専門家会議、経済対策関係団体会議を開催致しました。

感染症専門家会議の中では、感染状況や医療ひっ迫の各種指標が改善されてきており、医療現場の負担も軽減されてきていることから、緊急事態措置が解除できる状態にあるとのご意見を頂いたところです。一方、宣言解除後も引き続き感染防止対策を取る必要性があることのご意見も頂きました。

また、経済対策関係団体会議の中でも、緊急事態措置の解除についてご理解頂き、その他解除後の対策についてもご意見を頂いたところですが、解除後に再び増加傾向へ転じてしまうことの懸念についてもご発言がありました。

これらの意見を踏まえ、県は本日対策本部会議を開き今後の措置の方向性について協議し決定致しました。その内容についてお伝え致します。

県内の感染状況は県民の皆様の努力により減少傾向にあり、9月末には緊急事態宣言を解除できる状態にあります。

しかしながら、未だ10万人当たりの陽性者数は全国で最も多く、医療フェーズも5の段階にあり、予断を許さないことから、感染防止の措置の緩和については、直ちに全面解除とするのではなく、段階的に行う必要があると考えております。

感染状況を鑑みた具体的な緊急事態宣言や重点措置の実施についての総合的な判断は、来週行われる政府対策本部の決定を待つ必要がありますが、県としましては、まん延防止等重点措置を参考に感染防止のための独自の措置を実施していくという方向で、政府対策本部と意見交換をしながら、具体的な措置について調整を図ってまいりたいと考えております。

そして、この措置を行う期間については、未だ高い水準にある感染状況を確実に抑え込み、また再び増加傾向へ転じてしまうことのないように傾向を注視するための期間と考えて検討しているところです。

感染が増加傾向に転じた時には、再び措置を強化することとして今後の措置の方向性を決定しております。

国の決定内容の如何に関わらず、この期間の感染対策を徹底し減少傾向を継続できるかどうかは、新型コロナウイルス感染症で長らく強い感染対策の措置を行っている沖縄県にとって今後を左右する重要な局面になると思われまます。

措置の具体的な内容については、政府決定を受けて来週にも改めてお伝えしたいと考えておりますが、県民の皆様と「緊急事態宣言解除後の期間が、重要な踏ん張りどころである」という認識をしっかりと共有し、ワクチン接種への協力も重ねてお願い申し上げ、この重要な局面を県民一体となって乗り越えたいと考えております。

県民の皆様、繰り返しになりますが、10月1日以降は、長きにわたる新型コロナウイルス感染症から医療、経済、暮らしを回復していく為の重要な期間になると思われまます。ご自身のため、子どもたちのため、そして私たちが生活するこの社会を守るために、何卒一緒に頑張ってみましょう、宜しくお願い致します。